

避難行動要支援者個別避難計画書

記入例

令和 6 年 6 月 6 日

十和田市長 様

福祉専門職記入用

要支援者本人 署名 十和田 一郎
(代筆の場合) 署名 十和田 太郎
代筆者 本人との関係 長男
連絡先 090-XXXX-XXXX

要支援者情報	ふりがな	とわだ いちろう				生年月日	
	氏名	十和田 一郎				昭和 25 年 1 月 1 日	
	住所	〒 034 - 8615			電話・FAX	TEL 51-6718 FAX 22-7599	
		十和田市西十二番町6-1			メール	fukushi@...	
	かかりつけ医療機関	名称	〇〇クリニック			電話	XX-XXXX
		名称	訪問看護ステーション●●●			電話	XX-XXXX
	携行医薬品	薬剤名:	書ききれなければ別紙でも可			禁忌薬:	
		I日量:	服薬回数:			服薬時間:	
	指定難病名	ALS(筋萎縮性側索硬化症)			アレルギー	特になし	
	介護	認定	なし・要支援・要介護 5				
		居宅介護支援事業所	事業所名	在宅介護支援センター□□□			
			担当ケアマネジャー	上北 麗子		電話	XX-XXXX
	障がい	手帳	なし・身体 1 級・精神 級・療育(愛護) 級				
		相談支援事業所	事業所名	相談支援事業所△△△			
			担当相談員	南部 千代子		電話	XX-XXXX
コミュニケーション	会話・筆談・文字盤・意思伝達装置・						
配慮してほしいこと 該当に✓	✓	立つことや歩行ができない			音が聞こえない・聞こえにくい		
		物が見えない・見えにくい			言葉や文字の理解が難しい		
		自分で判断ができない			他人と一緒にが苦手		
		パニックになることがある			じっとしてられない		
		大きな音や騒音が苦手			自傷や物を壊すなど激しい行動障害がある		
		人工透析が必要			オストメイト		
		内部障害()			✓その他(言葉が出ない)		
してほしい支援 該当に✓	✓	介助			支え		
		声掛け			大きな声		
		車いす			杖・歩行器		
		その他()					
その他留意事項	日常生活の全てにおいて介助が必要な状態						

※医療的ケアが必要な方はこちらもご記入ください。

病 名	ALS（筋萎縮性側索硬化症） (合併症： ○○○)				
発 症	平成 30 年 4 月	呼吸器装着	平成 30 年 7 月 ~	血液型	O 型 Rh + -

	医療機関・事業所名	期 間	頻 度	主治医・担当／連絡先
治療	〇〇クリニック	平成 30 年 4 月 ~	月1回	青森先生
		年 月 ~		
訪問看護	訪問看護ステーション●●●●	平成 30 年 4 月 ~	週3回	
訓練		年 月 ~		
		年 月 ~		
		年 月 ~		

医療的 ケア (在宅) の内容	☒ 人工呼吸器 ▶種類(<u>気管切開</u>) マスク) ▶施行状況 (<u>常時</u>)・夜間・必要時) ▶バッテリー (内部 <u>外部</u>) 両方) ▶バッテリー持続(<u>2本</u> × <u>7</u> 時間) ▶発電機(<u>有</u>) 無) ソーラー発電機 カーインバーター ガソリン	☐ 酸素 ▶ () L/分 ▶施行状況 (常時・夜間・必要時) ▶種類 (鼻カニューレ・マスク) ▶ボンベの予備 (有・無)	☒ 吸引 ▶種類(口腔・鼻腔・ <u>気管</u>) ▶チューブサイズ() ▶気管カニューレの種類・サイズ (<u>コーケンダブルサクションチュー</u>) ID/OD <u>8.5/12.0</u> ▶バッテリー持続(<u>10</u> 回分程度) ▶充電式吸引器(有・ <u>無</u>) ▶充電式以外の吸引器(有・ <u>無</u>)	☒ 栄養・水分 ▶接種方法 (経口・ <u>胃ろう</u>) 腸ろう・経鼻・ バルーンボタン式) ▶チューブのサイズ等 (<u>24Fr</u>) ▶栄養の種類 () ▶食形態 (軟・きざみ・)
	排 泄	☒ オムツ ☐ 膀胱・腎留置カテーテル ☐ その他 ()		
	その他 ()			

避難について必要な情報を記入
(自由記入)

特記事項
ADL
身体の拘縮・禁忌な体位等